

## 第10回 第1章 現代の政治

### 第3節 日本の政治機構

# 裁判所と司法

講師  
相原義信

#### 学習のねらい

司法権をもつ裁判所はどのような役割を持っているのでしょうか。刑事裁判はどのように行われ、国民はどのように司法にかかわっているのでしょうか。裁判員制度や司法の独立性について学びましょう。

調べておこう  
覚えておこう

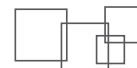
公判前整理手続／被告人／裁判員制度／三審制／  
弾劾裁判／国民審査／検察審査会／検察官／憲法の番人／  
罪刑法定主義／起訴／違憲審査権（違憲法令審査権）

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 逮捕されたらどうなるの？

- 「司法」とは、具体的な事件や争いごとを、法律にもとづいて解決することです。司法権は裁判所が持っています。
- 警察官が逮捕するには理由が必要で、刑法などの法律にあらかじめ犯罪や刑罰を規定して、国民に知らせておく必要があります。これを ① \_\_\_\_\_ といいます。警察官が逮捕するには、裁判官が許可した令状が必要です。② \_\_\_\_\_ が、被疑者を拘束して調べる際にも、時間の制限や裁判所の許可が必要となっています。基本的人権を守るため、厳格な手続きが定められています。
- 検察官によって ③ \_\_\_\_\_ され、刑事裁判が行われます。起訴された ④ \_\_\_\_\_ には、黙秘権や弁護人を依頼する権利があり、法律の専門家である弁護士が被告人の弁護をします。
- 裁判官は、有罪か無罪かを判断し、刑罰を科すなどの判決をだします。判決に不服がある場合、高等裁判所への控訴や、さらに最高裁判所に上告することができ、3回まで裁判を受けることができる ⑤ \_\_\_\_\_ のしくみがあります。冤罪をふせぎ、人権を守る必要とされています。



POINT 2

国民の司法参加

- 司法と国民のかかわりには、最高裁判所の裁判官に対する<sup>⑥</sup>.....や、検察官が不起訴にした事件を検討する<sup>⑦</sup>.....への参加、公開が原則となっている裁判の傍聴があります。
- 司法制度改革では、法テラスの設置が行われ、2009年から<sup>⑧</sup>.....が始まりました。国民が裁判員として重大事件の刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に議論し、判決を下すことになりました。裁判員裁判では、国民にもわかりやすい言葉での説明や、<sup>⑨</sup>.....が行われて裁判の迅速化がはかられるようになりました。

POINT 3

司法の独立

- 議院内閣制では、権力分立とはいいながら、国会と内閣が密接にかかわっています。そこで司法権の独立が重要になります。
- 裁判所には、国会が定めた法律や、内閣が行う命令が憲法に違反していないかを審査する<sup>⑩</sup>.....があります。最高裁判所は、<sup>⑪</sup>.....といわれて、裁判所内のルールを決める規則制定権をもっています。さらに、内閣が行う下級裁判所の裁判官の任命でも最高裁判所の指名する名簿に沿うようになっています。
- 裁判官の判断が、国会や内閣、上級の裁判所からも干渉を受けない「裁判官の独立」が重要です。裁判官は、国会の<sup>⑫</sup>.....による以外に辞めさせられることはなく、裁判官の身分保障が日本国憲法に規定されています。

答え

① 罪刑法定主義 ② 検察官 ③ 起訴 ④ 被告人 ⑤ 三審制 ⑥ 国民審査 ⑦ 検察審査会 ⑧ 裁判員制度 ⑨ 公判前整理手続 ⑩ 違憲審査権 (違憲法令審査権) ⑪ 憲法の番人 ⑫ 弾劾裁判